

令和元年度 第2回 瑞浪市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日 時 令和元年10月1日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで
2. 場 所 瑞浪市保健センター 3階 大会議室
3. 出席者 永井委員長、木股副委員長、伊藤委員、内田委員、肥田委員、兼松委員、出村委員、伊佐地委員、清水委員、安藤委員、工藤委員、矢田委員、渡辺委員、栗岡委員、水野（美）委員、水野（優）委員、後藤委員、鶴来委員
欠席者 江口委員、橋本委員
事務局 加藤民生部長、兼松社会福祉課長、社会福祉課 伊東、伊藤
傍聴者 なし
4. 議題等
 - 1) 第1期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の検証について
 - 2) 第2期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について
 - 3) その他

5. 会議録（要旨）

- 事務局 定刻となりましたので、只今より「令和元年度第2回瑞浪市子ども・子育て会議」を開会します。皆様には、ご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
- 民生部長 お忙しい中、「子ども・子育て会議」にご参加いただきましてありがとうございます。10月になりいろいろな制度、仕組みが変わることになっています。朝から新聞・ニュースなどで消費税のことが盛んに言われており、軽減税率、ポイント還元などわかりづらい点もあります。制度の変換にあたっては丁寧な説明が必要だと感じています。
- 本市においては、地域包括支援センターを市内2か所に業務委託しました。相談窓口が今までの倍になり、高齢者の相談業務が充実していくと思っています。
- また、子育て支援の面では、ご承知のとおり幼児教育・保育の無償化が始まりました。国が目指す子育て世代の経済的な負担軽減につながり、少しでも子どもたちが増えることを期待しています。今後は、保育の質がより求められてきますので、相談業務などを充実させていかなければならないと思っていますところです。
- 本日の子ども・子育て会議では、皆様からご意見をいただく中で新しい計画にいろいろなものを盛り込んでいく必要があります。市のベースとなる計画ですのでどうぞ忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。本日はよろしく申し上げます。
- 事務局 本日の資料の確認をします。
1. 次第
 2. 【資料1】第1期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の検証について
 3. 【資料2】第2期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について
- でございます。
- 本日の出席委員ですが、2名の方より欠席のご連絡をいただいております。瑞浪市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により、会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことができないとされております。本日は委員20名中18名の出席をいただいておりますので、本会議が成立してい

ますことをご報告させていただきます。

それでは、瑞浪市子ども・子育て会議条例第6条により「会長が議長を務める」となっておりますので、議事の進行は永井会長にお願いします。よろしくをお願いします。

委員長

幼児教育・保育の無償化などいろいろと変化が出てきていますので、今後どのようにこの計画の中で活かしていくか皆さんのご意見も非常に貴重なものになると思っていますのでよろしくをお願いします。

では議題に入りたいと思います。

議題1) 第1期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の検証について、事務局から説明をお願いします。

事務局

—資料1に基づいて説明—

委員長

議題1) について、ご意見等がございましたらお願いします。

委員

保育所における一時預かり事業が未実施であるとの説明がありましたが、どのようであるか確認をいたします。

事務局

当市では、私立保育園2園で一時預かり事業を実施しています。未実施のものは、幼稚園における一時預かり事業です。

委員

わかりました。

委員

放課後児童クラブについて、各地区に設置がないとの理由で「B」判定ということであったが、陶地区は児童館が学童の機能を担っているところもあり、今年度は、夏休み等で児童館が開館していない時間も地域で子どもを預かったと聞いています。各地区に学童が設置されることが望ましいとは思いますが、設置したことによって運営を圧迫していく現状もあるので、日吉地区のように季節開所(夏休み・春休み)でやっていくのも一つの方法であるのかなと思います。

委員長

地域の実態とかニーズによって、状況が変わってくるということを把握していかななくてはいけないということですね。

委員

前回の会議で報告のあったアンケート結果や課題・問題点についてはどこに反映されていますか。

事務局

この検証結果は、第1期の計画に計上している事業について評価したのになります。先日、アンケート結果や団体ヒアリングの結果については、第2期の事業計画(案)に反映していきます。

委員長

その他にご意見等がございましたらお願いします。

委員

—特になし—

委員長

続いて、第2期瑞浪市子ども子育て支援事業計画(骨子案)について事務局からお願いします。

事務局

—資料2に基づいて説明—

委員長

議題2) について、ご意見等がございましたらお願いします。

委員

もっと委員や現場の声を反映した骨子とらないですか。

事務局

現在は、素案段階であり、意見があれば反映をしていきます。

委員長

できるだけ委員等の意見を配慮していただきたいと思います。

委員

教育部に子どもを預けているが、保育料が無料になるなら長く保育をしてもらった方がいいかなと欲も出てきた。周囲にもそういう声は多かったように思います。ある保護者からは、園で保育部が変わると言ったらいい顔をされなかったと聞きました。違う保護者からは先生の負担が大きくなるから、私は変わらないといった方もいて、私も自分の欲で変えてはいけないと思いこのまま行こうと思っています。本日も、これから子どもを迎えに行きますが、この会議のために少し延長をお願いしましたができないと言われました。月に何回だけでも延長が頼めれば教育部のままでいいのにといい

た声も聞きます。こういった保護者の声が反映された計画になるといいと思います。

子ども食堂運営支援事業については、2回ほど行きましたが食事も美味しく、中学生が手伝ってくれたりして温かい空間で過ごす良かったです。こういった取り組みは、広報等でもっとPRしたらいいいと思います。

委員

同じ保育や教育をしているのに私立と公立が分かれている感じがしています。支援のされ方も違うので、どうしても私立が公立のできない部分を請け負う形が多くなっているように思う。せっかくこうした会議があって、行政、民間、公立の人、そしてお母さんたちがいる場なので、私立と公立が共存する形を考える場所にしてほしいです。

また、現在0～2歳児がどこの園も満員で、小規模保育所を設置して今は収まってはいるけど、そうなった場合の対応などについて計画策定時にもっと考えてほしかったと思います。データだけではなく、現場の声、保護者の声を吸い上げた計画にしてほしいです。

委員長

個々のことまで載せていくのはなかなか難しい部分もあると思いますが、データをもとに具体的な施策にできるだけ活かして行ってほしいと思います。

委員

無償化の話は、5年くらい前から言われていたことである程度予測がついたと思います。小規模保育所を作って凌いでいるが、5～10年後出生率が下がって、施設に空きがでた場合、市はどのような面倒を見てくれるかと思うと、私たち民間は事業展開ができなくなってしまいます。ある程度、今後の予測のうえでいろいろな事業を展開していきたいと思っています。

委員

無償化になってどういったニーズの変化があったかということは私も知りたいです。また、それにより先生方の負担も増えると思うので、先生方の処遇が見直されていくといいなと思います。保育園は無償化になりましたが、学童は保育料が発生するのでこの辺りはこれからの課題になっていくのかなと感じています。

先般のアンケート結果で、放課後の過ごし方の中に「自宅で過ごす」という意見が多くあったので、子どもたちが自分でやっていきたいという思いを持てることも応援していきたいと思います。お母さんや家の人と子どもと一緒にいられるシーンを大前提に考えながら、働かざるを得ない現状もあると思うので、本当の意味の子育て支援を皆で考えていきたいと思っています。

委員

年々、発達障害の子どもたちが増加しています。子どもが幼い頃の両親、家族、1対1に近い状況での子育てが苦しくなっているのではと感じています。子育て、子ども支援といったときに、誰をもとに考えるのか、子どもとの時間、1対1の時間をどう作っていくかということ盛り込まないといけないと思います。こうした支援がないと、今後、ますます子どもたちが苦しくなり、小学校低学年から中学年になったときに、仲間とうまく関わりが持てなかったり、情緒不安定の子が増えてきてしまいます。また、今回、出ている「子ども家庭総合支援拠点の整備」のように、苦しんでいる母親の声を聞いたり、子育てについてのサポートができる体制もぜひ充実してほしいと思います。

委員

保育にかかわる立場と子どもを預けている母親の立場から意見を言わせていただきます。無償化が近づくにつれ情緒不安定の子が増えてきていると感じています。無償化は母親としてはありがたいですが、現場で不安定になっている子どもを見てしまうと、どっちに寄り添っていくのがいいか難しいなと感じています。しかし、子育て支援事業というのは、やはり子どもが中心だと思うので親さんが働くための支援ばかりではなくて、子どもと親が触れ合う機会が増えるような支援策があったらいいと思います。

委員

無償化に関しては、国から情報がなかなか降りてこず、どのくらいの方が転部されるか心配してい

ましたが、始まってみると思ったより少なかったように思います。先ほど話にあったように、いい顔をされなかったり、言いにくかったというのは本当に申し訳ありませんでした。また、職員のことを考えて様子を見ようとしてくださった方もいると聞いて感謝の気持ちでいっぱいです。今日から保育時間が長くなることで、不安定になる子どもの対応をしばらくの間はしていく必要がありますが、無償化に伴い、保育士が増えたというところではないので、自分たちで頑張っていかなければいけないというのが公立の現状です。

先ほどから出ている子育て支援事業に関しては、保護者の方が子育てが楽しいと思えて、笑顔でいることが子どもたちにとって1番で、そのうえで子どものことも考えていきたいというのが公立職員の考えです。お母さんたちを支援しながら、子どもにとって何が一番大事で、何が必要なのか。子どもたちが、本当に伸び伸びと自分の力を発揮しながら成長していくために、私たちは何をしていたらいいのかというところを話し合っていけたらいいなと思っています。

委員 5年間とか先を見通すのも大事ですが、今を大切にすることも同じように大事なことだと思います。計画の基本的な視点の3本柱「守る 育む 笑顔」とあるように、お母さんがニコリしていれば子どもは落ち着いてニコリできると思います。そんな風に1日1日を過ごしていたら5年が経過して、その結果、楽しかったと思えるような施策がこの中に具体的に出てくるといいと思います。

委員長 様々な子どもと家庭があるので、数値だけ見るのではなくていろんな状況を考え、子どもが安心して毎日過ごせるような施策をぜひお願いしたいなと思います。また、女性・母親を支援する方向ばかりではなくて子どもを大事に育てていくような施策を考えていただけたらと思います。

その他にご意見等がございましたらお願いします。

委員 ー特になしー

委員長 それでは、これを持ちまして本日の会議を終わります。次回の会議は、12月頃の予定です。よろしくをお願いします。

事務局 それでは、本日の会議は以上で閉会とします。皆様どうもありがとうございました。